

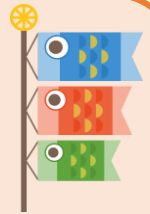
T・Nそごう通信

春号
2019年4月～6月

保険を通じて皆様の笑顔を守るお手伝いをします！



～春のプチニュース～



社長



我が子がこの春から中学3年生！
硬式野球のクラブチームに所属しておりますが、今まで毎週のように県外に遠征し、野球漬けの2年間を過ごしてきました・・・私も！ そろそろ勉強に力を発揮してほしいのですが、なかなか親の思い通りにはいかず、日々勝手に心配しております。ただ、野球にかける思いは人一倍！ 何かに夢中に取り組む姿勢は、私達大人が忘れかけていたものかもしれません。逆に子どもに教わっている今日この頃！

本社



最近水中ウォーキングにはまっている板持です。
皆様知っていましたか？ 水中は陸上と違い浮力があるので膝・腰などへの負担は少なく運動ができるんですよ！ それだけではなく水圧・水流が発生するので、負荷をかけようと思えば陸上で運動する数倍の負荷をかけることもできるので歩くだけで筋トレにもなるんです！ 今の体型からは想像できませんが実は私、元スイミングインストラクターなんです！ その時の体型を取り戻すべく日々頑張っております！ 目指せ夏にはキレキレの体！ 今後板持の変化にも注目してください！

松江



雲南市にある尾原ダムの放流イベントに行ってきました。毎年マイナスイオンを浴びるのを楽しみにしているのですが、今年は貯水量が少ないので放流は行わず、ゲートのみ開きました。代わりに、ゲートの近くまで階段を下りて行けたのですが、網目状の階段で、なかなかスリルがありましたよ。



有限会社T・Nそごう保険

TNそごう

検索 

<http://www.tnso-go.jp/>

本社：〒689-3553 鳥取県西伯郡日吉津村日吉津84-1-2 F ☎0859-27-2970

松江：〒690-0049 島根県松江市袖師町9-1-2 F ☎0852-20-7181

業務内容：生命保険の募集に関する業務・損害保険代理業

大丈夫でしょうか？入院への備え

病気にならない備え、罹った場合の資金的備え、どちらも大切です

●入院日数は短くなる傾向だが
病気やケガに対する不安として最も大きいのが「長期の入院で医療費がかさむのではないかな…」ということです。

厚生労働省の「平成26年患者調査」では平均在院日数は31.9日（病院33.2日、一般診療所17.4日）となっており、入院日数は短くなる傾向になっています。とはいえ、入院日数は傷病部位や手術の種類によって異なり、脳血管疾患は89.5日、高血圧性疾患は60.5日と長くなっています。

やはり、治療の長期化で収入が途絶えてしまうことは心配です。医療費の多くは公的医療保険でまかなえるとはいえ、個人の負担額は少なくありません。

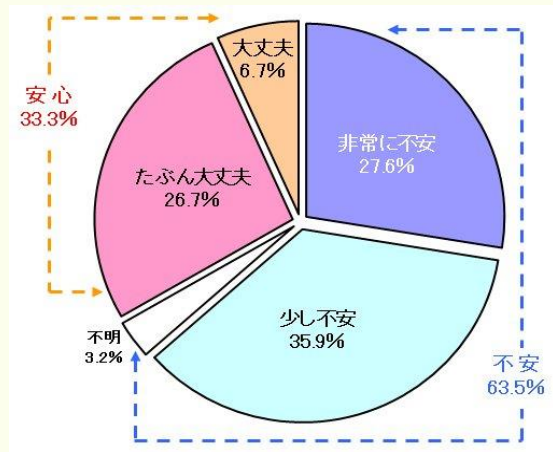
●大きい！経済的負担への“不安”

（公財）生命保険文化センターが3年ごとにまとめている「平成30年度 生命保険に関する全国実態調査」

（速報版）によると、世帯主が病気や交通事故などで2～3か月入院した場合に、差額ベッド料、交通費等、健康保険診療の範囲外の費用に対して必要と考える資金額の平均は月額25.7万円となっています（図1）。必要資金月額分布をみると、「30万円以上」の割合は29.6%となっています。その費用に対する現在の経済的備えについては、「不安」

（「少し不安」と「非常に不安」の合計）が63.5%となっており、思うような準備はできていないようです（図2）。経済的準備手段として期待できるものは「入院時に給付金が出る生命保険」が58.0%と最も多く、次いで「預貯金・貸付信託・金銭信託」46.3%、「有価証券」8.0%の順となっています。

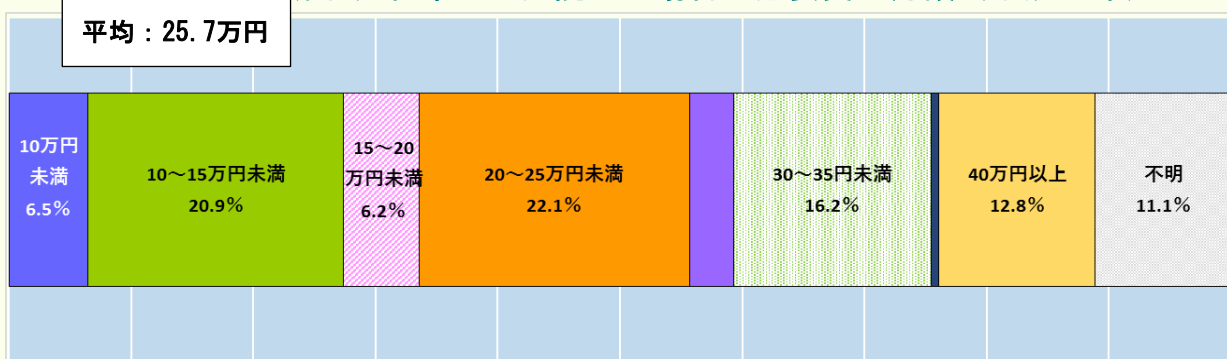
（図2）世帯主が入院した場合の必要資金に対する安心感・不安感（平成30年）



（公財）生命保険文化センター
「平成30年度生命保険に関する全国実態調査」（速報版）

8.0%の順となっています。病気にならないようにする備え、罹ってしまった場合の資金準備、どちらも大切です。みなさんはいかがでしょう？

（図1）世帯主が入院した場合の必要資金月額（平成30年）



（公財）生命保険文化センター「平成30年度生命保険に関する全国実態調査」（速報版）

新日本保険新聞社よりデータ提供

2019.1.7リリース「あんしんTopics」より抜粋



FPのつぶやき

「所有から共有へ」といった考え方が広まってきています。

ライフスタイルによっては買うより借りて済ます方が保管や手入れを考えると楽になるといった声が増え、月額制で様々なサービスが生まれています。

物によっては利用頻度や使用する期間を考えるとシェアリングサービスを利用するのもいいかもしれませんね。

家計全体で見たときに減らせそうな項目がないかみてみましょう。